

[Pick Up!]

集え! 現用装備マニア ZERO OPERATORS & ギアフェス東北

Cover Photo/Taku Mizuno (Base)
Helmet Cover Artwork/M. Kelly (Satoshi Okada)
©WORLD PHOTO PRESS 2018
※本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

CONTENTS

ベトナム戦争の置土産 005 TIGER STRIPE IN NAM

第5回
Psychological Operation in Vietnam War
THE PAPER WAR

ベトナム戦争のペーパーウォー

022 OPERATION LEAFLETS

ピラマキ大作戦

SGM Herbert Friedman (Ret)

028 LRRP 実録 あるLRRP隊員の記録

ロバート・セドルマイヤーの場合 by Jay Borman

ベトナム戦争アクションシリーズ
スカイソルジャーズ

048 SKY SOLDIERS

Operation Junction City

034 VIETNAM WAR Air Combat

041 ミリ服 PROFILING ナム戦トロピカル コンバット コート Part 1

047 コラム ベトナムを遠く離れて——。文/小倉 徹

072 東京マルイ GAS BLOWBACK MACHINEGUN 89式小銃

080 NEW GENERATION STYLER fujiwaraの「ゼロオペ」

090 ニッポンの力こぶ 16式機動戦闘車を配備した注目部隊! 第42即応機動連隊



088 ゲームOTT [特別編] TAITO ガンアリーナ

098 シン・サバゲ三等兵 TACR-1 特殊降下訓練編

102 トイガンニュース WA ベレッタM9A1&M9A1ウエポンライト タナカ SIG P220 IC空自バージョン マルゼン APS-3 LE2018

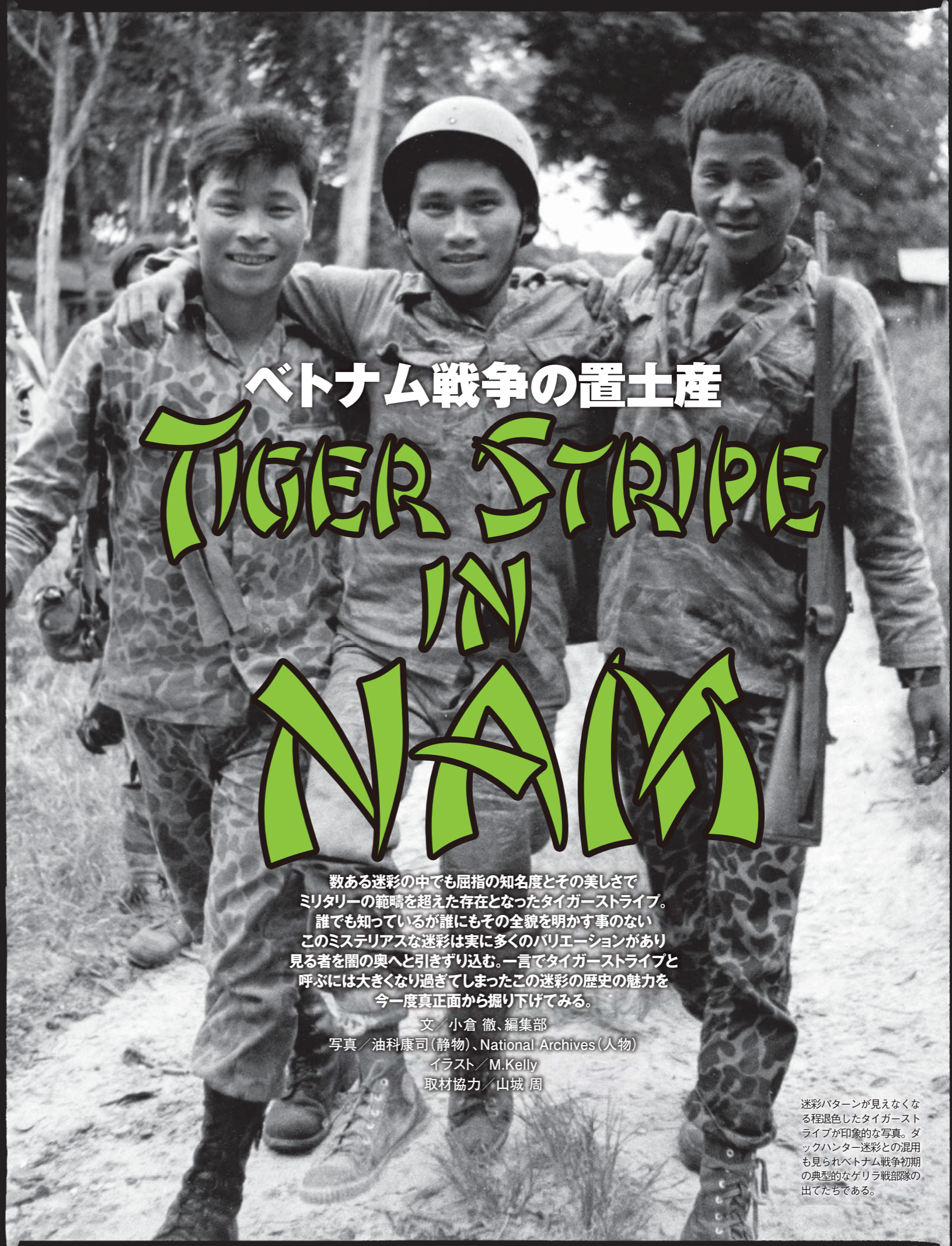
105 WESTERN ARMS THE LEGEND OF MOVIEGUN "COLT M1911"

112 Militaria Roundup! アメリカ陸軍航空隊 フライング・スーツ

COMBAT FRONT LINE

- 064 ツゲチヨリ [シューティングカフェGuns編]
- 065 タイトー「ガンアリーナ」ロケーションテスト
- 066 広報オリモト、初めてのラベル買い
- 067 おススメシネマ「アメリカン・アサシン」
- 068 海上保安制度創設70周年記念観閲式および総合訓練
- 070 サバイバルゲームフィールドSEALS 新ゲーム「EXTREME CELL」

- 094 新製品てんこ盛り! COMBAT mono
- 118 US Shooting Life
- 120 レアミリタリーテクノロジー
- 122 兵装嗜癖
- 124 サバゲ三等兵APS部
- 126 YUKO'S OUTPOST
- 127 CIC
- 128 PRESENT
- 142 バックナンバーリスト
- 143 次号予告



ベトナム戦争の置土産

TIGER STRIPE IN NAM

数ある迷彩の中でも屈指の知名度とその美しさで
ミリタリーの範疇を超えた存在となったタイガーストライプ。
誰でも知っているが誰にもその全貌を明かす事のない
このミステリアスな迷彩は実に多くのバリエーションがあり
見る者を闇の奥へと引きずり込む。一言でタイガーストライプと
呼ぶには大きくなり過ぎてしまったこの迷彩の歴史の魅力を
今一度真正面から掘り下げてみる。

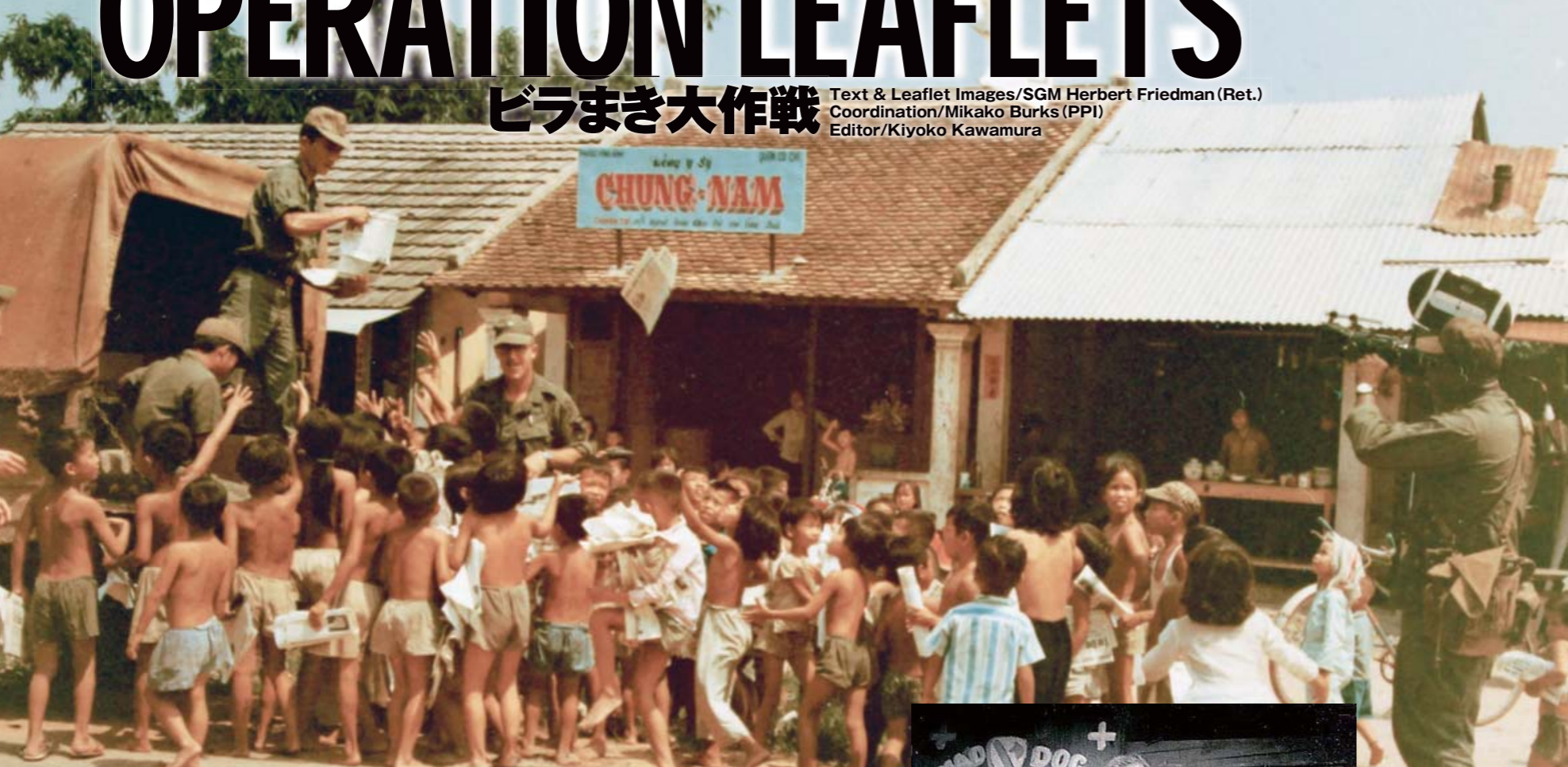
文 / 小倉 徹、編集部
写真 / 油科康司(静物)、National Archives(人物)
イラスト / M.Kelly
取材協力 / 山城 周

迷彩パターンが見えなくなる程退色したタイガーストライプが印象的な写真。ダックハンター迷彩との混用も見られベトナム戦争初期の典型的なゲリラ戦部隊の出でたちである。

第5回
Psychological Operation in Vietnam War
THE PAPER WAR
ベトナム戦争のペーパーウォー

OPERATION LEAFLETS

ビラまき大作戦 Text & Leaflet Images/SGM Herbert Friedman (Ret.)
Coordination/Mikako Burks (PPI)
Editor/Kiyoko Kawamura



味方向けの太陽作戦は、南ベトナム軍とアメリカ軍が展開したプロパガンダ。この作戦の相手は味方である南ベトナム側についている人びとだった。むごたらしい死体や、敵の残虐非道ぶりを暴き立てる代わりに「心温かな支援、役に立つて、得をする支援が受けられますよ」という場面を出してベトナム側へ返還することのないよう引き留めるのが目的だった。

味方であるはずの人たちの心を買う「ウイニング ハート&マインド」作戦

「北風と太陽」の寓話にあるように、人の心をつかんで、人心を買うには、太陽に勝機がある。温かい作戦の方が勝つ。南ベトナムと米軍が展開した「ハート&マインド」作戦はまさにこれ。むごたらしい死体や死の恐怖で、人心を震え上がらせるのではなく、その反対。温かい春風作戦で、人の心を買おうと目論んだ。この目的のために一番の効果を発揮したテーマは健康である。具体的には医療であり、何をどう食べるかという食の問題だった。

医者に診察してもらう機会がそうそうない地方の村に、アメリカ軍の軍医と衛生兵が行く。村の小学校に臨時の診療所を開設するのだが、最初うち、村の人たちは警戒してだれもやってこない。そんなところに、8歳か9歳ぐらいの男の子が、歯が痛くて我慢できずにやってきた。初日に処置したのはその子一人だった。村の人たちは、ほぼ皆健康だったと

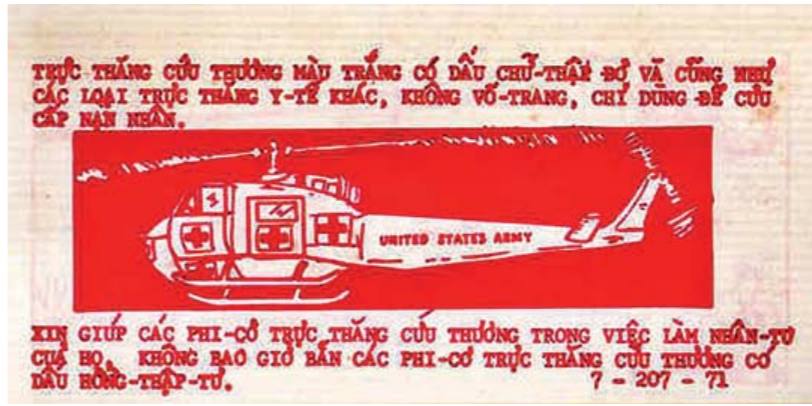
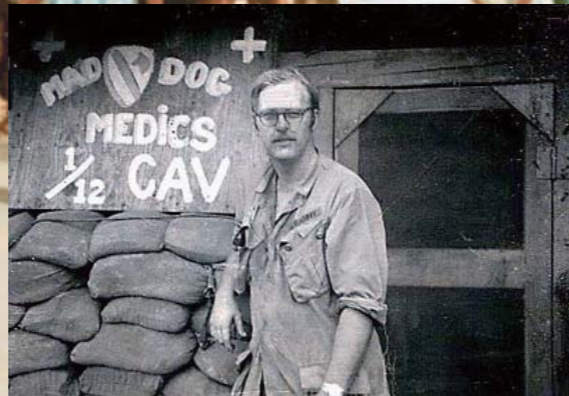
いうこともある。二度目に同じ村に行くと、また子どもが最初にやってきた。けれど今度は年配の人も足を運んできた。歯痛や発疹など、年配者によくある症例で、歯茎マッサージ用のクリームや、抗生物質を処方してやる。ビタミン不足が認められる人には、ビタミン剤をあげた。三度目に行くと、診療所代わりの学校の校庭には行列ができていた。幼い子、年配者、その中間とすべての年齢層の村人が集まってきた。けがをした人たちは、皆、口をそろえて「ベトナムにやられた」と話した。こうした医療チームに参加したある衛生兵は「ベトナムで人の役に立つというのはよかったが、ただ一つ、両手や服が血まみれになってしまうのが困った」と語った。

村では、緊急時に自分たちでできる救急処置方法を教えるビラを配ったりした。一つには、それは「ベトナム化」の一環だ

った。ベトナム化するという建前から生まれた作戦で、できるだけ現地の人に任せる、やらせるというものだった。ベトナムの小さな村を守る任務があった。南では、兵士たちに軍事訓練を施し、軍人ではない村人たちには、何かと親切に世話をしてやった。目的はただ一つ。「ハーツ&マインド」を勝ち取るためだった。24時間、週7日間、つまり365日村に常駐して、毎日、毎日、村人たちと交流する。すると互いに影響しあわずにはいない。だからこうもいえる。南ベトナムの人びとと交流することで、米兵は生きながらえることができた。アメリカの戦争ではないのだから、「ベトナム化を進める」という話にくらべたら、こちらの説の方が、まだ買えそうな話に思えるのだが、実際はどうだったのか。

医師や衛生兵が村人たちの診察や手当をしているあいだ、子どもたちは米兵にまわりつく。上は第1騎兵隊の衛生兵ポール・マーリン。

1966年10月。ドクターと衛生兵が小学校で診察しているあいだ歩哨に立つ。子どもたちに取り巻かれた第1海兵師団第1対戦車大隊A中隊のワード・バック。下は海兵隊のリック・ムーア。

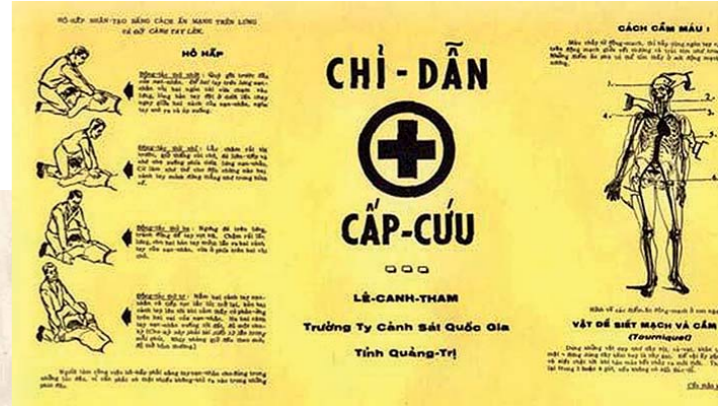
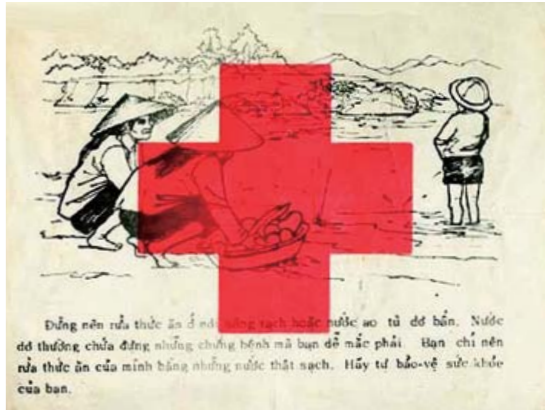
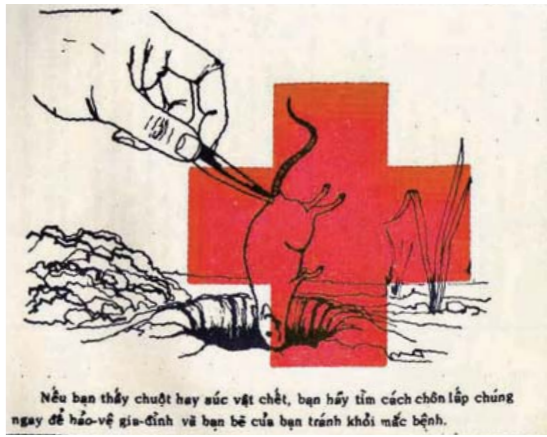


リーフレット2933号。ベトナム軍の医師が子どもを診察している。胸を出している少年は不安そうな顔だが、医療サービスが届かない人たちにとっては、得がたい安心をあたえることを狙っている。自国民向けプロパガンダポスター。

リーフレット2934号。老若男女を問わず無料で、読み書きを教えている。



Xà-phòng và nước giúp bạn tẩy sạch những vi-trùng bám ở trên da. Mỗi ngày bạn hãy rửa rửa với xà-phòng và nước để phòng ngừa những chứng bệnh ngoài da. 7-646-68



手渡して配った1663号ビラ。「このビラには、緊急時に使える応急処置方法が記されています。またいろいろな怪我や処置が必要な20の怪我の処置方法を記してあります。」と、心肺蘇生術といろいろな緊急時に使える処置方法を説明している。

赤十字を記したヘルメットをかぶり、ビブを着けているのが衛生兵だと教える必要があった。



LRRP

EXPERIENCE

ROBERT SEDLMAYER'S CASE

あるLRRP隊員の記録

LRRPとは長距離偵察を表すLong Range Reconnaissance Patrolの略で主力部隊のために敵情を探る影のエリート部隊である。第23歩兵師団の一般歩兵としてベトナムに従軍したロバート、セドルマイヤー4等特技兵はひよんな事から師団のLRRPに入隊する事となり、そのスリリングな体験は忘れがたいものとなった。そのいくつかを見てみる事でLRRPの実像に迫る。

by Jay Borman 構成/鈴木健太郎 訳/河村喜代子

ロバートが着ていたタイガーストライブジャケットと黒いベレー。ベレーは良く見られるベトナム製ではなく、LRRPが居た基地内のPXで購入したバンクロフト社の物。

ベレーに付けられたクレストと呼ばれるユニットバッジと台座のフラッシュのアップ。この種の記章がこれだけはっきり見える写真は貴重である。

リーコンドースクールでの課程を修了した事を示すリーコンド一章。第23歩兵師団は自前のスクールを持っていたのでパッチもオリジナルデザインのもの。G75は第75連隊G中隊を表し、1969年2月の改編で第23師団のLRRPが第75連隊のレンジャー中隊となった事を示す。



ミリ服 PROFILING A "Know-It-All" Profiler



ミリ服をとことん掘り下げて、そこに秘められた物語を解き明かす
「ミリ服プロファイリング」。
今回はジャングルファティグの名で親しまれた、
トロピカルコンバットユニフォームのゴートを2回に渡って掘り下げます。 Kentaro Suzuki

●協力 Whisler
Komon (MMC)



DETECTIVE
AGENCY



EQUIP, or DIE.
ギアフェス
東北

ヘリに扮した自動車
 でBB弾をばら撒く
 「真・航空支援」の要
 請を待つ、ヘリパイ
 役のMUNAGE氏。



東北在住の写真家、
 零-rei氏の戦場の記録

ギアフェスではお馴染み、WEBで絶大な人気を誇る東北の写真家、零-rei氏は今回ミリタリーブログの公式ライターとしても活躍。ギアフェスの戦場を独特な視点で映し出す様はもはやサバイバルゲームの写真を越えた「芸術作品」のようだ。(Twitter:zero_ofdarkness)



装備好きの祭典「ギアフェス東北」遂に開催!

●Photos&Text: morizo (MMR-Z/新東京装備BAKA) ●Special Photos: 零-rei-

昨年、東京サバゲパークで行なわれた装備好きの祭典「ギアフェス2017」の後継イベント、「ギアフェス東北」が宮城県ジョーズポイントにて開催された。ギアフェスとは前身イベント「ギアログ」と共に弊誌ライターmorizoと装備好き同好会MMR-Zが総合プロデュースを行なっている「装備好きの、装備好きによる、装備好きのためのサバイバルゲーム大会」だ。今回は開催地を東北の地、宮城に場所を移し、筆者の朋友であるTJ1滝口氏を中心としたギアフェス東北実行委員会が主催し、本家ギアフェスに匹敵するほどの参加者(約250名)を動員、装備好きイベントとして大いに盛り上がっていた。東北の地、宮城には東京より「ダンガンバスツアー」と称した1泊2日のサバゲツアーでの参加者や、名古屋、富山、大阪から訪れる強者もいて、東北ではまだまだ少ない装備好きイベントに花を添えた。

ギアフェスは「軍装(ミリタリーフォトなどを参考にしたコスプレ)」を主体としたサバイバルゲームイベントであるが、東北では架空軍装を基調としたフィクションウォーリアー(x115x Taylor提唱)や、最近話題のリトルアーモリー女子などの参加カテゴリーを増設、本家ギアフェス以上と言っても過言ではないくらい熱気のあるイベントと進化したのではないだろうか。

ギアフェス東北を通じて、装備好きの仲間が増えて、もっともっと大きなフェスティバルに成長することを筆者は切に願っている。東北の装備好き、いっしょにがんばっぺ!

ギアフェス東北
 主催:TJ1滝口・ギアフェス東北実行委員会
 開催地:宮城ジョーズポイント
 企画協力:MMR-Z
 協賛:アームズマガジン、x115x Taylor、イロドリミリタリー、
 コンバットマガジン、タックゾンビギア、Tri.S、トミーテック、
 Big-Out、PK WAVE、ミリタリーブログ、MIL-FREAKS、MOVE、REALMENT





東京マルイ
ガスブローバックモデル

89式 5.56mm小銃

“ドシッ!!”と肩に重く響く、迫力のブローバック!! 金属音と衝撃。そして、脅威の命中精度!!
日本の防人のプライマリーウェポン[89式5.56mm小銃]ガスブローバック”。
高性能ブローバック、リアルな外観、そしてプラスαの魅力を用意いよいよ発売!!

©東京マルイ ☎03-3605-3312 <http://www.tokyo-marui.co.jp/> Photo&Text by Tomo Hasegawa

89式5.56mm小銃

- 全長：916mm
(インナーバレル長：250mm (予定))
- 重量：4,000g (予定)
- 装弾数：35発
- 発売時期：未定
- 価格：未定

快調ブローバックでついに89式GBBが御目見え。外観だけでなく内部のパーツの形状、さらに素材までを精巧にすることでできたリアルさ。トイガンの愉しみを拡大してくれる1挺だ。

東京マルイ“ガスブローバックライフル”シリーズ注目の新モデル「89式5.56mm小銃」(以降“89式GBB”)。

その最終試作バージョンが御目見得! フラッシュハイダーやバレル、ボルト周りに被筒やストックなどの黒染めされた各部、これに全体の黒鉄色とがメリハリが効いてグッとカッコ良く思える。

前回のレポート(本誌2018年5月号参照)の時より完成度が高まっている事を暗に伝えている。さらに金属パーツの冷たい感触、迫力の重量感、ガツシリ安心の剛性感など、手にすると完成度の高まりが実感できる。

とにかくリアルな外観が魅力の89式GBB。なかでもトモが個人的に注目したい箇所がリベット……だ。

89式の被筒(いわゆるM4のフォアエンドに相当する部分)は、金属製の内筒と樹脂製の外被筒を組み合わせ、リベットで固定されている。しかも内筒が前後に露出した独特の形状。89式の特徴となっている。電動89式では樹脂製で一体成型だったが、今回の89式GBBではこの独特の構造を完全再現。良いんですこれが!

被筒を構成する樹脂パーツと金属製パーツを実銃どおりリベットで固定されている。そのため、リベット周辺の樹脂製被筒の表面がほんのわずかに凹んでいる。これが89式GBBをやた

らリアルに感じさせるのだ。

まさか、リベットというわずかなパーツが、これだけ89らしさを漲らせて魅せるとは。『なにもそこまでしなくとも……』などと、当初思ってしまったのが甘かった。

同様に、被筒先端の冷却孔周りや折り曲げなどプレス加工部分も、周辺をわずかに歪ませてとてもリアル。高度に加工されながらも、どうしても生じてしまうプレス加工痕。樹脂の成型品ではできない……金属製のプレス成形ならではの味わい。これがしっかりと被筒先端部分にあって、もの凄くリアルに見えるのだ。

さらに、使い込んでいけば、擦れて金属の地肌が露出してくる。これにより、いっそうリアルさが増していく。形

だけでなく“素材”を含めたリアルさ。実銃に必要な構造を再現することで、外観に美事な説得力をもたせているのだ!

89式GBBに携わった東京マルイのスタッフの好き者加減……いやいや89式への“愛”と言いましょうか。“89式が大好き”な気持ち、情熱が製品をより魅力的に仕上げ、見るものを唸らせるのだ。

迫力のブローバック!!

おっと、外観だけでページが無くなってしまいそう。

今回は実射モデル。さっそく撃ってみよう!

“バギンッ!!”

凄い発射音で“ドシッ!!”と肩に重く



東京マルイ独自のメカ「ZETシステム」。ブローバックの迫力を損なわず、耐久性を高める……。存分に撃ちまくれるよう開発された「ボルトキャッチ破損防止機構」の89式バージョンを搭載。リコイルスプリングガイド基部にもスプリングが目立つ事なく内蔵され、ブローバックの迫力はそのままに、パーツの耐久性を向上。89式の高性能を支える。



重量感漲るリコイルショック! 激しい激発作動音! 確かな作動感とともに、迫力のブローバックを実現!!